

価値創造のプロセス

外部環境の変化



マテリアリティ
の特定
(サステナビリティ上の
重要課題)

▶ P.20



ガバナンス ▶ P.38

Output

2020年度実績

ガスセグメント

売上高 11,467億円

セグメント利益 884億円

電力セグメント

売上高 3,959億円

セグメント利益 86億円

海外セグメント

売上高 459億円

セグメント利益 38億円

エネルギー関連セグメント

売上高 3,394億円

セグメント利益 170億円

不動産セグメント

売上高 484億円

セグメント利益 75億円

その他セグメント

売上高 1,104億円

セグメント利益 38億円

Outcome

2020年度実績

2022年度中計目標

安心な暮らしの実現
エネルギーコストの削減
地球環境への貢献
快適な暮らしの実現

CO₂削減貢献

668万トン → 650万トン

再エネ電源取扱量

138.3万kW → 200万kW

お客さまアカウント数

1,231万件 → 1,480万件

天然ガス取扱量

1,820万トン → 1,700万トン

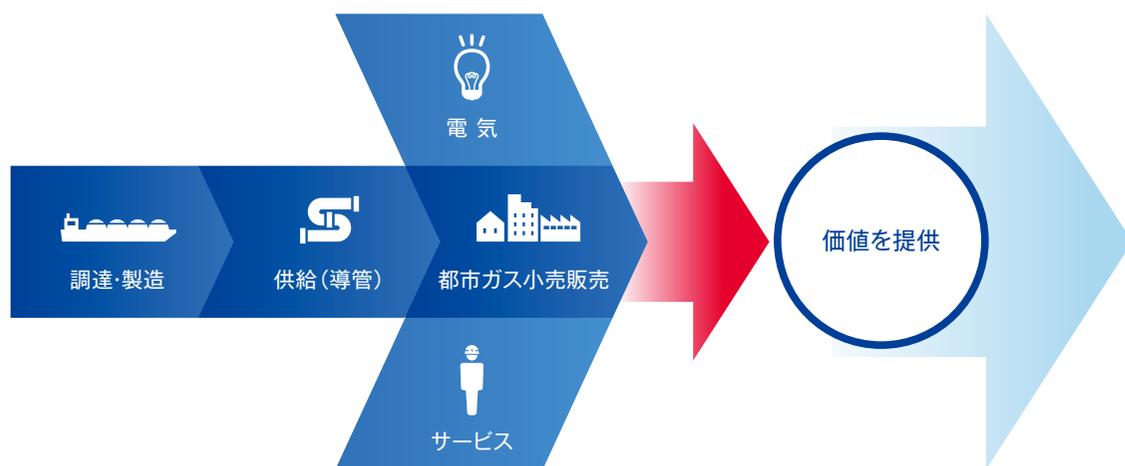
営業利益 + 持分法利益

791億円 → 1,400億円

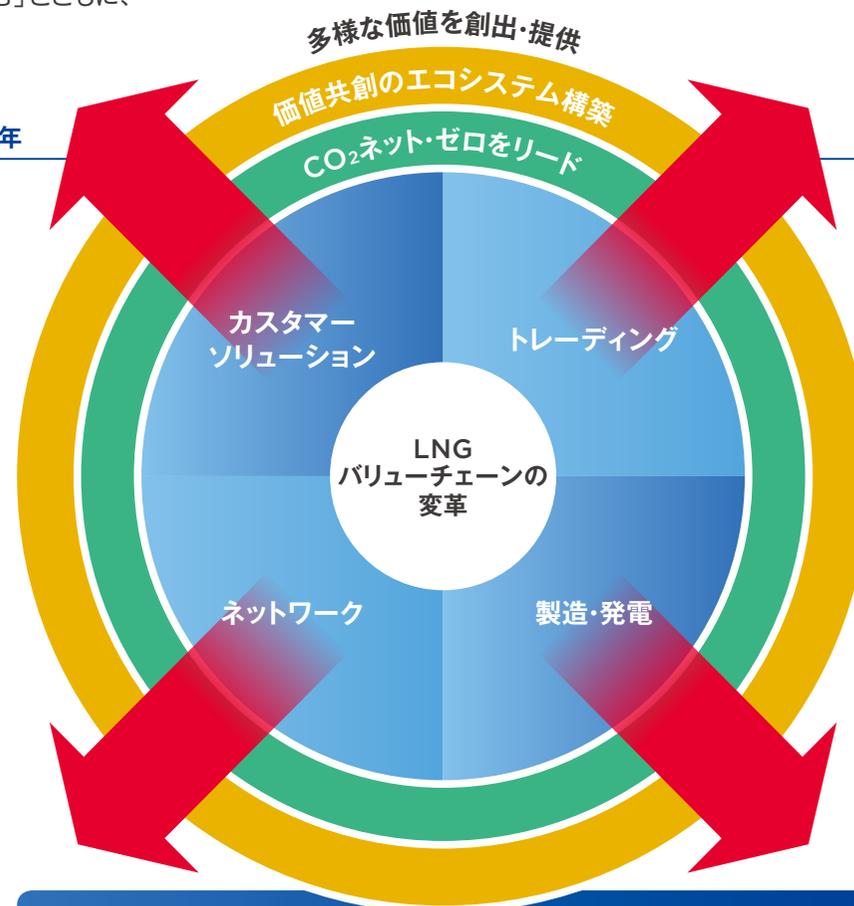
LNGバリューチェーンの変革

これまでの、都市ガス小売販売での価値提供に加え、LNGバリューチェーンにおける「トレーディング」「製造・発電」「ネットワーク」「カスタマーソリューション」の各機能で培ってきた事業・ノウハウを「究め込む」とともに、新たな領域を「切り拓く」ことにより、各機能において、価値創出や提供するお客さまを拡大していきます。

これまで



2030年



東京ガスグループの強みを活かし 国内・海外に展開

これまでの、各機能において価値を高めたLNGを、最終機能である小売販売によりお客さまに提供するビジネスモデルにおいて、いかにその価値を高めるか取り組んできた。